



仲原だより

NAKABARU DAYORI



「血管造影撮影装置」と「透視撮影装置」を 更新しました!!



胃・大腸といった消化管や整形外科における透視検査、内視鏡や超音波を併用したERCPやPTCD(経皮経肝胆肝ドレナージ)等の非血管造影から血管造影まで、幅広く対応する事が出来ます。しかも、FPD搭載装置のため、デジタルによる高画質化と被曝低減は勿論の事、大視野を要する全脊椎長尺撮影も可能となります。

これまでのX線フィルムを使用する方法に比べ、少ない造影剤でコントラストの良い(診断しやすい)画像を得ることが出来、しかも撮影と同時にその画像を観察することができますので、これまでの現像処理待ち時間がなく検査がスピーディーに行え、精度の高い検査治療が可能となりました。

今後も「患者様にやさしい医療」を心がけてゆきたいと考えております。(放射線技師長:深町善久)



血管撮影装置

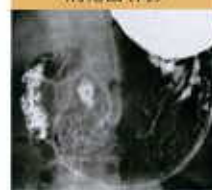


透視撮影装置

※腹部血管(サブトラクション画像)



消化器(胃)



消化器(大腸)



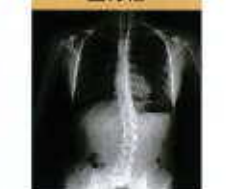
PTCD



ERCP



全脊椎



世間ではテレビの地デジ化が進む中、当院でも8月に新たな透視撮影装置(デジタル化)が導入されました。当院では肝胆膵疾患の診療にも力を入れており、その1つの方法としてERCP(内視鏡的逆行性膵胆管造影)を行っています。ERCPでは透視画像を見ながら検査を進めていくので、その画質が検査の質の向上に大変重要となりますが、新たな透視装置のおかげで以前と比べてより鮮明で詳細な観察が可能となり、また、時間短縮、効率も大幅にアップし、患者様への負担も軽減できるようになりました。当院では、精密検査のERCPの他にも総胆管結石に対する内視鏡的治療、膵管狭窄に対する膵管ステント挿入などの非侵襲的な治療も行っています。また、今年4月から「十二指腸狭窄に対する十二指腸ステント」が保険適応となりました。これは「狭くなった十二指腸にステントという金属の筒を入れることで食べ物の通り道を作る」という処置で、胃カメラさえ飲むことができれば受けることが可能です。「癌で十二指腸が狭くなり食事ができなくなったけど、手術を受ける体力がないので口から食べるのを諦めざるを得ない」という患者様のQOL(生活の質)の向上に大いに貢献できるのではないかと思います。当院でも既に数人の患者様に使用し、皆さん無事に口から食事ができるようになりました。このように、最近は内視鏡や透視を使った様々な治療が編み出されています。当院でもこれらの最先端の治療を取り入れ、新しくなった透視装置とともに皆様のお役に立てるように日々努力していきたいと思っております。(内科医師:李倫學)

糖尿病療養指導士認定

この度の福岡県糖尿病療養指導士認定試験におきまして、2名の看護師が新たに認定を受けることが出来、以前より認定を受けていた7名に加え、合計9名が中心となって糖尿病療養指導を行っております。糖尿病のことで分からないことがございましたら、お気軽にお訊ね下さい。

～既存認定者～

- 松永 早代(管理栄養士) 轟 明美(看護師)
- 小倉 洋子(看護師) 高橋 恵美(看護師)
- 岡 美智子(看護師) 伊規須 めぐみ(看護師)
- 岩野 かおる(看護師)

～この度の認定試験合格者～

- 永井 和美(看護師) 西田 裕子(看護師)



留学を終えて…

外科医師 永田茂行



留学地ロンドンについて

2009年5月より1年間、英国ロンドンはKing's College Hospitalの肝胆膵・肝移植外科にて肝移植を中心に臨床修練しました。ロンドンは人口750万人の世界を代表する大都市です。人口の4割は外国人であるというので英国人の懐の広さが伺い知れます。英国は日本よりも緯度が高く、夏は短いです。午後11時頃まで明るく、街には緑が溢れ、至る所に広大な公園が数多くあります。皆公園でのんびり横になっている姿が印象的でした。また夕方から大勢の人がパブに集まり夜遅くまで騒いでおり、常に街中が活気で溢れている感じでした。それに比べ、冬のロンドンは最悪でした。午後3時には暗くなり、天気は悪く、寒く、街中が暗い印象を受けました。夏目漱石がロンドン留学中にうつ病になったというのも分かる気がします。英国人にとっては、つらい冬を乗り切るためにクリスマスというイベントはかせない存在で、年末は大いに盛り上がります。

英国の医療システム

「ゆりかごから墓場まで」と言われるように、医療・福祉は全ての国民に保障されています。税金が非常に高く、消費税は17.5%で、すべての物価が日本よりも若干高いですが、英国に居住し、納税をしている者は皆、無償で医療を受けることが出来ます。しかし良いことばかりではなく、予約してもすぐには診てもらえず、長時間待たされるのが問題でした。多くの人は診てもらえるまでの間、症状を我慢するしかないのが現状です。この辺りはコンビニ化している日本の病院とは異なります。

留学施設について

私が勤務したKing's College Hospitalは年間200例以上の肝移植をこなす、移植以外にも救急医療、脳外科、病理学など様々な分野で高名な医師を数多く輩出しており、世界的にも有名な施設です。世界中から多くの肝移植外科医が常時来訪していました。彼らと切磋琢磨できたことは私にとっては得難い経験でした。私はcallされた時には必ず駆けつけ、全ての手術に立ち会うようにして過ごしている内に、やっと周りから認められるようになり、最終的には約180例もの手術に手洗いし、何例かは執刀する機会にも恵まれました。英国の肝移植外科医は手術だけで、術前・術後の管理は各々の専門にと完全分業化されていました。この点も全てを外科医が行っている日本とは異なる点でした。

留学で感じたこと

脳死移植とはドナー、あるいはその家族の善意と崇高な意思に基づく臓器提供により成り立っています。英国では臓器提供を良しと考えている人が9割以上を占めているようですが、実際に提供意思を书面などで明示している人は3割にも満たないと聞きました。多くは家族による承諾で成り立っているようです。最愛の家族を失った悲しみは万国共通の当たり前の感情ですが、日本で脳死移植を普及させるためには、国民への啓蒙活動や医療スタッフの教育、さらにそれらを支える組織作りが重要であると考えます。2010年7月より臓器移植法の改正案が施行され、条件付ではありますが、家族の同意が得られれば臓器提供は可能となりました。今後日本でも臓器不全で死に直面した人達がより多く救われることを願います。

眼科 外来

2010年10月より、木曜日の午後も診療を開始いたしました。
どうぞ宜しくお願い致します。

診療日：月曜日(午前)、木曜日(午前・午後) / 担当医：九州大学眼科医師

インフルエンザ予防接種について

日を追うごとに涼しくなり、風邪が流行りやすい時期が近づいてきました。昨年は、新型インフルエンザが流行しましたが、そのインフルエンザを防ぐためには、手洗いやうがい大切です。また、インフルエンザにかかっても重症化しないためには、予防接種が大切です。

当院での今回の予防接種は**3価ワクチン**となります

Q.3価ワクチンとは??

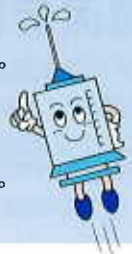
- ① 従来のA型インフルエンザのワクチン
- ② B型インフルエンザのワクチン
- ③ 新型インフルエンザのワクチン

接種開始日について

11月初旬をめどに接種開始する予定です。
詳細が決まり次第掲示致します。

接種料金について

現在の住所地によって料金は異なります。
詳しくは、受付の医事職員にお尋ね下さい。



ふれあい看護体験・職場体験

当院では、地域貢献活動の一環として、ふれあい看護体験や中学生の職場体験の受け入れを積極的に行っています。



中学生 高校生の声

- 「将来、理学療法士になりたいと思いました」(高校3年生・男子)
- 「今日の体験でより一層、医療への関心と知識が深まりました」(高校2年生・女子)
- 「私は将来、看護師さんか助産師さんになりたいです」(中学2年生・女子)
- 「私がもし将来医療関係の職に就くなら、医療ソーシャルワーカーになって困っている患者様を助けたいと思っています」(中学2年生・女子)

ふれあい看護体験・職場体験担当者より

上に列挙した方以外には、「将来、医者になりたい」という目標を持って体験に来られた方もいらっしゃいました。当院では、今後も地域の中学生・高校生への支援を充実して行っています。

糖尿病教室における運動の紹介

食欲の秋、芸術の秋、運動の秋、いよいよ本格的な秋が到来しました！
いも、くり、かぼちゃ…いろんなものが美味しくなるこの季節、毎日の食事と同じように習慣としている運動はありますか？

当院では、糖尿病患者様を対象に運動教室を実施しています。医師の指示をもとに週一回一時間、専門の指導員と一緒に楽しく気持ち良く体を動かしながら、血糖値改善を目指す教室です。運動の始まりと終わりに血糖値測定を行うと、明らかな改善がみられる方が多数いらっしゃいます。また、定期的に運動を継続することで、HbA1cの数値が改善されたり、内臓脂肪が減少するという効果も期待できます。

運動の内容は、椅子に座ってできるストレッチ、室内でできるエアロビクス、足腰の大きな筋肉を意識して動かすスクワットなど、簡単にできるものばかりです。運動が苦手な方や一人ではなかなか続けられない方、またストレッチの方法を知りたい方など、ぜひ一緒に動いてみませんか？



山下垂紀子指導士



椅子を使った運動



エアロビクスの様子①



エアロビクスの様子②

《教室日時》毎週火曜日14:00~15:00
お待ちしております！

病診連携

このコーナーでは、粕屋メディカルネットワークという病診連携活動の登録医の先生方をご紹介します。



志免総合診療所 内科消化器科

当院は志免町の環状線沿いのビル内にあり、循環器内科、小児科、皮膚形成外科を併設しています。私は平成2年に九州大学を卒業し第三内科に入局後、消化器内科医としての実地臨床およびがんの基礎的な研究に従事して参りましたが、地域の内科かかりつけ医、がんの在宅医療(緩和ケア)を目指して平成20年9月に開業致しました。主に午前中は内科一般外来と消化器内視鏡検査を行い、午後は定期的な訪問診療を行っています。訪問診療はがん患者など重症の方が多く、24時間往診体制で在宅で亡くなるお手伝い(在宅看取り)も行っています。私が研修医の頃、大学の助教授でいらした木村院長のご推挙で仲原病院の登録医にして頂き、患者さんの紹介や緊急入院など病院の方々にはいつもお世話になっています。苦痛の少ない内視鏡検査と患者さん中心の病診連携を目指し、地域における在宅医療の輪を広げて行きたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



- 所在地: 糟屋郡志免町志免4丁目22-11
- TEL: 092-937-5656
- FAX: 092-937-5666
- 診療科: 内科・消化器科・在宅医療(緩和ケア)
- 診察時間: 平日 9:00~18:00 / 土曜 9:00~13:00
(訪問診療のため不在あり。訪問診療・内視鏡検査ご希望の方はお電話を)
- 休診: 日曜日・祝祭日
- 医師: 荒木 譲
- HP: www.simesin.jp

外来診療



内科

一般内科(毎日)・消化器内科(毎日)・血液内科(岡田・後藤)・肝臓病(野口)・糖尿病(木村・大神・武井(九大))・痔臓病(木村・大神・李)

外科

一般外科(毎日)・乳腺外来(毎日)
 ※但し、火曜日は手術日となっており、原則として新患のみの受付となります。
 ※午後は手術の都合により担当医が変更になったり、診療できない場合もあります。

整形外科

一般整形外科(毎日)
 *午後は急患及び予約患者のみ受付可。

眼科

毎週月曜日(午前)・木曜日(午前・午後)

循環器内科 毎週金曜日(松本(九大))

呼吸器内科 毎週水曜日(高山(九大))

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	野三木 木岡大	岡三木 木村大	大神	三後藤 木岡久	後藤李 大野口	内科医師 交替
	午後	木村大 李	木村大 後藤三	後藤李 李岡	木岡久 久保	大野口 内科医師 交替	休診
外科	午前	松田 犬塚	外科医師 交替	吉田 吉永	犬塚 松田犬塚	永田 永吉	外科医師 交替
	午後	手術日 (吉田)	手術日 (松田)	手術日 (犬塚)	手術日 (永田)	手術日 (犬塚)	休診
整形外科	午前	芳田	九大 非常勤	芳田	芳田	芳田	交替 (芳田・九大)
	午後	*	*	*	*	*	休診
眼科	午前	九大 眼科医			九大 眼科医		
	午後				九大 眼科医		
専門外来	午前			高山 (呼吸器)	武井 (糖尿病) 午後のみ	松本 (循環器)	
	午後						

受付時間

■月～金曜日 / 8時30分～12時00分
 13時30分～16時30分

■土曜日 / 8時30分～12時00分
 ■日・祝祭日 / 休診
 ※急患は随時受け付け

発行 / 社会保険 仲原病院 〒811-2206 福岡県粕屋郡志免町御手洗6 TEL092-621-2802 FAX092-623-2247

社会保険仲原病院のホームページアドレス → <http://www.nakabaru-hp.jp/>

【お知らせ】 住居表示実施により、平成22年10月30日、当院の住所が次の通り変更となります。よろしくお願い致します。
 新住所: 〒811-2233 福岡県糟屋郡志免町別府北二丁目12番1号